

## 週刊 女川湾海況速報 (No.57)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

8 月 27 日から 30 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温と塩分は全層で上昇し、水温は 22～23℃台、塩分は 32～33 台をそれぞれ示した。経時的には表層 (0m) の水温は 29 日に一旦下降し、底層 (6m) でも 28～29 日に下降。塩分については表層で 29 日に下降したが、底層では期間を通じてほぼ一定の値 (33.2～33.3) で推移。先週と比較して全層で塩分が上昇したことから、高塩分な外洋水の侵入が徐々に進行していると推定。

水深 [m]	8月27日 (火)	8月28日 (水)	8月29日 (木)	8月30日 (金)
0	22.9 (33.1)	23.2 (33.3)	22.4 (32.8)	23.0 (33.2)
6	22.9 (33.2)	22.6 (33.3)	22.4 (33.3)	22.9 (33.3)

水温の単位は℃。\*30日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には表層で 29 日に、底層で 28 日にそれぞれ一旦上昇。

水深 [m]	8月27日 (火)	8月28日 (水)	8月29日 (木)	8月30日 (金)
0	0.4	0.3	0.8	0.6
6	0.7	1.0	0.7	0.4

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して表層で下降したが、底層ではやや上昇。期間を通じて、全層で 6～7mg/l 台を示した。経時的には全層で緩やかな上昇傾向にあり、27 日の表層を除いて 7mg/l 台を示した。

水深 [m]	8月27日 (火)	8月28日 (水)	8月29日 (木)	8月30日 (金)
0	6.6	7.1	7.1	7.1
6	7.0	7.0	7.1	7.2

単位は mg/l。水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 20.1～22.5℃、33.1～33.4 の範囲にあった。濁度は 0.4～3.3FTU の範囲にあり、底層 (20m) で最大。溶存酸素は 5.7～7.3mg/l の範囲にあり、底層で最小。

8 月 29 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	22.5	33.1	0.4	7.3
5	22.5	33.3	0.4	7.3
10	22.0	33.2	0.7	7.1
15	20.9	33.4	1.2	6.3
20	20.1	33.4	3.3	5.7

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。